

# 天明まちづくりセンターだより

発行/熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 ☎096-223-1117 FAX096-223-3275

## 農業用廃棄ビニール等収集

8月6日、JA 熊本市天明給油所（東側空き地）にて、天明廃プラスチック類対策協議会による「令和3年度5回目の農業用廃棄ビニール等収集」が行われました。今回は、雑プラスチック類（ダクト、肥料袋、育苗ポット等）が対象で、元天明集荷場で重量測定を行い、排出重量に応じて処理費用を徴収します。今回も約140件の雑プラスチック類が持ち込まれ処理されました。近年処理費用が高騰しており、ここ数年で処理費用が3倍～4倍になっています。同協議会では、このような活動を通じ、天明地区の環境保全のために尽力されています。当日は猛暑の中、持ち込まれた農家の方々、作業に従事された方々大変お疲れ様でした。



## ふるさとの鳥シリーズ(4) サギ



ウォーキングをしていると、必ず出会うのがサギである。以前は白サギで済ませていたが、調べてみるといろいろなサギがいることがわかった。

白サギは羽が白いサギの総称で、体の大きさからコサギ、チュウサギ、ダイサギに分けられる。

コサギは小さく、1年中河川や田んぼで見かけることができる。小回りが利き、魚をさかんに追い回している。

チュウサギはコサギより少し大きく、春になると南方からやってくる夏鳥である。子育てが済むと、また南方に帰り見かけることができない。

体が大きいのがダイサギである。ダイサギのくちばしは、夏は黒く、冬は黄色である。

その他天明で見かけるのは、アマサギ、アオサギ、ゴイサギである。アマサギも夏鳥で、日本で子育てをしている。大きさはコサギぐらいで、頭から首、背にかけて橙と黄が混じったきれいな鳥で、動物園の金絲猴をすぐに思い出す。アオサギは、日本では一番大きく、背中が青いのですぐわかる。ゴイサギは、腹が白く、背中が青いサギである。きれいだ。幼鳥は、背中に白い斑点があるので「ホシゴイ」と言われている。コロニーで他のサギの巣材を盗み取り、しぶとく子育てしているのがかわいい。でもゴイサギは夜間に鳴きながら飛び回り、エサ取りをしている。池の金魚や鯉、養殖場の魚を食べるので、「憎らしい鳥」と嫌われている。

これらのサギたちは、春になると緑川と加勢川がつながる六間堰のコロニーに集まって子育てをする。コロニーでは、サギたちのいろいろな姿を見ることができる。縄張り争い、求愛行動(ディスプレイ)、交尾、巣作り、サギの子どもたちなどである。また、サギの子を襲うカラスやトビ、ミサゴがやってくると、みんなで立ちふさがり、鳴き騒ぎ、羽ばたきしながら威嚇している。それで、カラスたちもなかなか近寄りたがらないようだ。



幸い六間堰のサギのコロニーは、騒音・フン害等で、天明の人にあまり悪害を与えていないようだ。今のままでサギの生ける場所として残ってほしいものである。

【紹介者:白河部健さん】

## 新型コロナワクチン接種 第6期予約受付

**8月28日(土)午前8時半**から受け付けます

1回目接種期間：9月13日(月)～10月3日(日)

対象は、**接種日に満12歳以上の市民の方**

熊本市新型コロナワクチン接種予約専用フリーダイヤル

電話：**0120-096-885**

受付時間：午前8時半～午後7時(土・日・祝日も開設)

なお、予約に関しましては、インターネットでの予約を推奨しております、右のQRコードをご利用ください



**【熊本市ワクチン接種予約サイト】**

## 防災行政無線放送確認ダイヤル

1. 電話する ※番号のかけ間違いにはご注意ください  
**096-351-6361**
2. 自動音声案内に従い、天明地域の放送内容を選択する  
**「27#(27シャープ)」を押す**
3. 放送内容を確認する

24時間以内に放送された防災行政無線の放送内容が確認できます。

天明地域の放送内容は、音声案内に従いダイヤル「27#」を選択してください。(通常電話料金がかかります。)操作案内の途中でも、操作できます。

放送内容をご確認されたい時に、ぜひご利用ください。